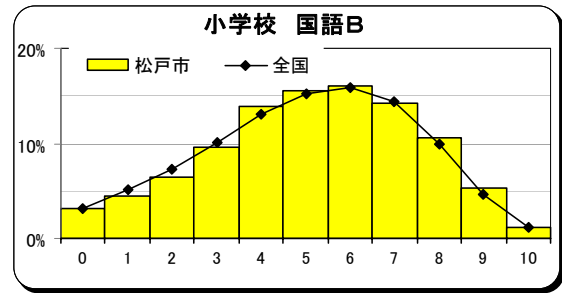
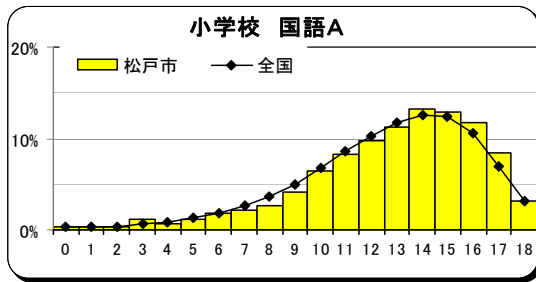


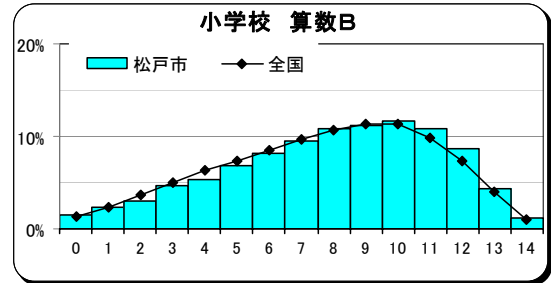
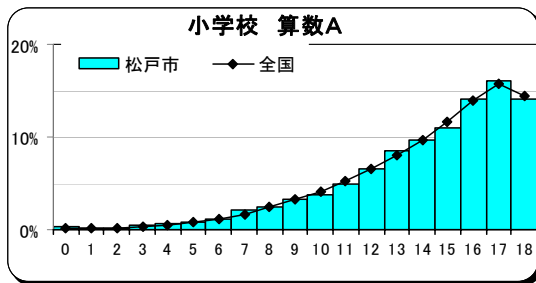
# 平成21年度 全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【小学校】

## 正答率の分布



層	D層	C層	B層	A層
	0~10問	11~12問	13~14問	15~18問
松戸市	21.1 %	18.0 %	24.5 %	36.3 %
全国	23.5 %	18.9 %	24.4 %	33.0 %

層	D層	C層	B層	A層
	0~2問	3~4問	5~6問	7~10問
松戸市	14.0 %	23.5 %	31.5 %	31.2 %
全国	15.7 %	23.1 %	31.1 %	30.1 %

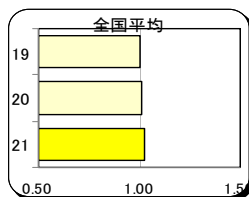


層	D層	C層	B層	A層
	0~11問	12~14問	15~16問	17~18問
松戸市	20.1 %	24.6 %	25.1 %	30.2 %
全国	19.9 %	24.2 %	25.6 %	30.2 %

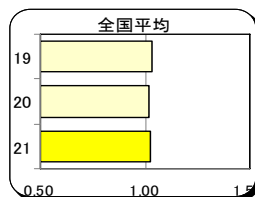
層	D層	C層	B層	A層
	0~4問	5~7問	8~9問	10~14問
松戸市	16.8 %	24.6 %	21.9 %	36.7 %
全国	18.8 %	25.6 %	22.1 %	33.6 %

## 19年度~21年度の比較 (全国平均 1.00)

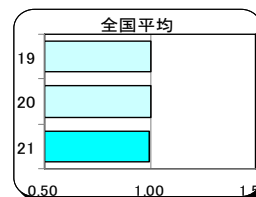
小学校 国語A



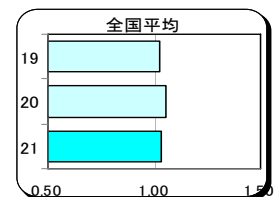
小学校 国語B



小学校 算数A



小学校 算数B



## 課題等

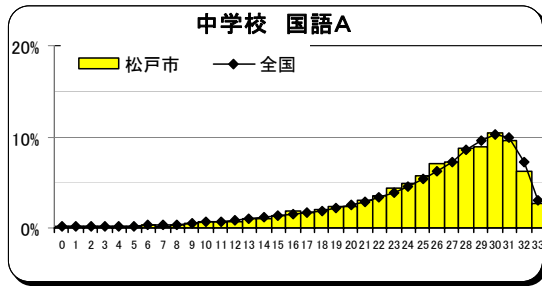
- ・国語A、国語Bともに全国より上回っているが、接続語を使って一文を二文に分けて書くことに課題がある。
- ・国語Aの報告文を読み、必要な事柄を整理することに課題がある。
- ・算数A、算数Bともに全国と比べてほぼ同程度であるが、算数Bについては学力状況は良好である。
- ・算数Aの減法と除法の混合した計算をすることに課題がある。

## 改善のポイント

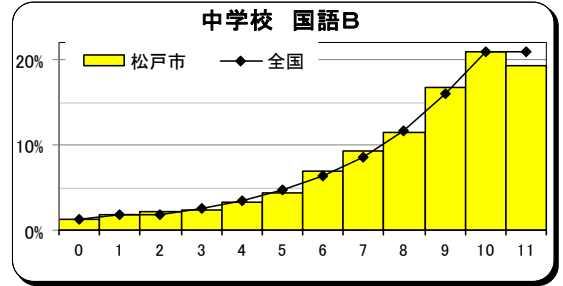
- ・国語では文の意味のつながりを考えながら、自分が伝えたいことを明確にし、接続語や文末の表現を工夫しながら簡潔に伝えることができるようにする。
- ・読書習慣を身に付けさせることが大切である。
- ・様々な文章や表、グラフなどの資料から必要な情報を収集したり、自分の考えを表現したりすることができるようにする。
- ・算数では、スパイラルを意識し、学年や小中の系統性を考慮することが大切である。

# 平成21年度 全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【中学校】

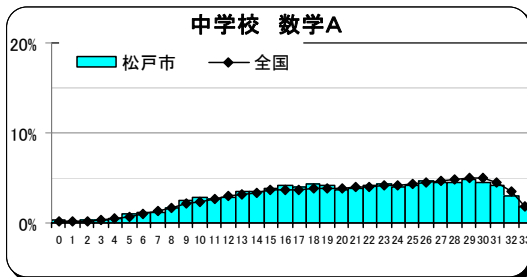
## 正答率の分布



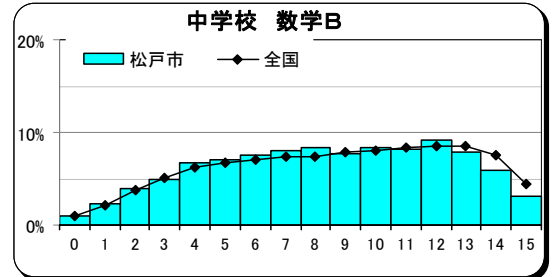
層	D層	C層	B層	A層
	0～22問	23～26問	27～29問	30～33問
松戸市	24.3 %	21.9 %	24.9 %	28.9 %
全国	24.2 %	20.0 %	25.4 %	30.5 %



層	D層	C層	B層	A層
	0～6問	7～8問	9問	10～11問
松戸市	22.2 %	20.8 %	16.7 %	40.3 %
全国	21.9 %	20.1 %	16.0 %	42.0 %

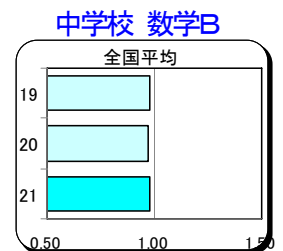
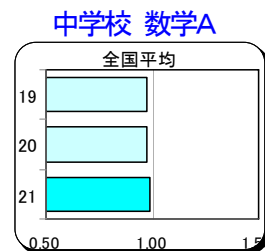
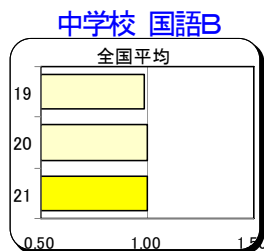
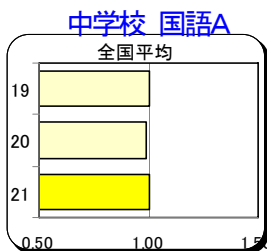


層	D層	C層	B層	A層
	0～14問	15～21問	22～26問	27～33問
松戸市	24.3 %	27.8 %	21.2 %	27.2 %
全国	22.8 %	26.5 %	21.2 %	29.4 %



層	D層	C層	B層	A層
	0～5問	6～8問	9～11問	12～15問
松戸市	26.0 %	24.0 %	24.3 %	25.9 %
全国	25.0 %	21.8 %	24.2 %	29.2 %

## 19年度～21年度の比較 (全国平均 1.00)



## 課題等

- ・国語A、国語Bは全国とおおむね同程度であるが言語や言語文化に関する問題に課題がある。
- ・国語Aで歴史的仮名遣いを讀んだり、意味を考えたりすることに課題がある。
- ・数学A、数学Bについては国と比べて若干下回るものの、全国と同程度といえる。
- ・関数に関する理解と、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

## 改善のポイント

- ・国語では語句の意味を理解するとともに、文脈に即して使えるように習熟を図ることが大切である。
- ・短歌を詠む際には、言葉のつながりや意味のまとまりを考え、作品の基本的な構造について理解することができるようにする。
- ・古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わい、古典の世界に触れさせる機会を充実させる。
- ・数学では、筋道立てて考える活動を充実させ、考えを表現したり説明したりする場面を増やすことが大切である。
- ・関数的な見方の理解を深めるために、表・式・グラフを関連付けて考える学習を充実させる。

## 全国と比べて正答率の高い問題・低い問題・無答の多い問題

	全国と比べて正答率が高い問題	全国と比べて正答率が低い問題	無答の多い問題
小学校 国語	<p>◆漢字を書く。 人の意見にさんせいする &lt;全国 78.3% 松戸市 83.3%&gt;</p> <p>◆漢字を読む 春から夏へ季節が移る &lt;全国 91.1% 松戸市 95.4%&gt;</p>	<p>◆漢字を書く。 重い石をはこぶ &lt;全国 80.6% 松戸市 78.9%&gt;</p>	<p>◆毛筆の下書きについて書き直す内容を書く。 時間を守ろう &lt;全国無答 33.3% 松戸市無答 28.9%&gt;</p>
小学校 算数	<p>◆200人のうち80人が女子のとき、女子の人数の割合は全体の何%か。 1 0.4% 2 2.5% 3 40% 4 80% &lt;全国 56.9% 松戸市 62.7%&gt;</p>	<p>◆偶数をすべて選んで書く。 0、1、35、78、100 &lt;全国 77.4% 松戸市 70.7%&gt;</p> <p>◆<math>80-30\div5</math> &lt;全国 66.8% 松戸市 61.5%&gt;</p>	<p>◆縦5cm、横7cmの長方形の板に縦2cm、横1cmの長方形のカードを敷き詰められないと判断するための考えを書く。 &lt;全国無答 17.6% 松戸市無答 16.7%&gt;</p>
中学校 国語	<p>◆適切な同音異義語を選択する。 入学式の時の来賓のシュクジは、特に印象に残っている (1 示 2 事 3 字 4 辞) &lt;全国 72.4% 松戸市 80.5%&gt;</p>	<p>◆漢字を書く。 燃料をオギナウ &lt;全国 53.7% 松戸市 43.0%&gt;</p> <p>◆歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す むかひて→ &lt;全国 75.9% 松戸市 65.4%&gt;</p>	<p>◆漢字を書く。 燃料をオギナウ &lt;全国無答 22.6% 松戸市無答 30.4%&gt;</p>
中学校 数学	<p>◆大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が7になる確率を求める。 &lt;全国 57.1% 松戸市 61.6%&gt;</p>	<p>◆平行四辺形について正しいものを選ぶ。 ア 線対称であり点対称である イ 線対称であるが点対称ではない ウ 線対称ではないが点対称である エ 線対称でも点対称でもない &lt;全国 52.8% 松戸市 46.8%&gt;</p>	<p>◆蛍光灯と白熱電球の総費用について、2つの総費用が等しくなるおよその時間を求める方法を説明する。 &lt;全国無答 49.7% 松戸市無答 56.4%&gt;</p>

## 2年間の比較

文科省が公表した標準化得点により、20年度と21年度のテスト結果を比較した。

標準化 得点	小学校				中学校			
	国 A	国 B	算 A	算 B	国 A	国 B	数 A	数 B
20年度	100	100	100	102	99	100	99	99
21年度	102	100	100	100	100	100	99	99
国	100	100	100	100	100	100	100	100

## 学力と生活習慣

正答率が高い児童生徒は

- ・朝食を毎日食べている
- ・テレビゲームをする時間が短い
- ・テレビやビデオ、DVDを見る時間が短い
- ・新聞やニュースに関心がある

と回答している。このことから、朝食をとる、テレビゲームの時間規制など、家庭との連携が大切だと考えられる。

# 調査からわかること及び学力向上に向けて

## <学力状況から>

- 本市は平均正答率等、国とおおむね同程度である。
- 小学校では算数AとBの相関関係が高く、算数の基本が身に付いている子どもは応用力も身に付いていると言える。中学校では国語・数学の相関関係が強い。国語の正答率の高い生徒は数学の正答率も高い。
- 小中学校ともに、選択肢を選ぶ問題の解答率は高く、記述の問題は解答率が低くなる。
- 学年が進むにつれて、無解答率が高くなる。

## <児童生徒質問紙から>

- 以下の内容について該当していると答えている児童生徒は正答率が高い傾向がある。
- 最後まで解答を書こうと努力する。
  - 授業で自分の考えを書いたり、発表したりする。
  - 授業で習った公式などの根拠や理由を考える。
  - 授業中、意見が上手に伝わるように工夫したり、もっと簡単に問題が解けないか工夫したりする。
  - 家で宿題をする。
  - 家でテスト直しや勉強をする。

## <学校質問紙から>

- 以下の項目について該当していると答えている学校は正答率が高い傾向がある。
- 児童生徒が熱意をもって勉強している。
  - 学習規律(私語をしない、話している人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底している。
  - 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導を行っている。
  - 調べたことや考えたことをわかりやすく文章に書かせる指導を行っている。
  - 家庭学習の課題を与えている。
  - 習熟度別学習等では児童生徒に合わせた教材等の工夫をしている。

## <学力向上に向けて>

### <学校では>

- ◆学習規律(私語をしない、話している人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の確立に努める。
- ◆授業では次のような場面を増やす。
  - ・自分の考えを書いたり、発表したりする。
  - ・問題を解く時、他の方法がないか工夫する。
  - ・何故そう考えたのか、理由や根拠を発表する。

### <家庭では>

- ◆朝食を食べさせる、テレビゲーム等の時間についての約束を決める等、家庭生活の見直しをしましょう。
- ◆児童生徒の学校生活について関心をもち、家庭学習の習慣が付くよう、声かけをしましょう。

### <教育委員会では>

- ◆児童生徒が集中して取り組み、できる喜びを体験できるような学習システムを構築してまいります。

